



こんにちは 県議会議員・日本共産党  
藤井かつひこ (克彦) です



日本共産党議員控室 TEL 045-210-7882  
(神奈川県庁新庁舎7階) FAX 045-210-8932  
自宅：相模原市南区旭町15-36-407  
TEL・FAX 042-748-6388  
携帯 090-2470-8471 Eメール yfe18113@nifty.com  
◇相談事やご意見ご要望などお気軽にお寄せ下さい

## ■特別支援学校の諸課題 質問後に一部改善も

### ★児童生徒の防災用非常食の備蓄

9月14日の代表質問で **藤井かつひこ** は、医療的ケアを必要とする児童生徒の防災用非常食の備蓄に関わる保護者負担の軽減について取り上げました。

ある県立特別支援学校では、災害時に備えて3日分の食料を防災食として備蓄するが、食事に配慮が必要な子どもの方は保護者に拠出を求めています。大きなポリボックスいっぱいには飲食物を入れて(右写真)、賞味期限が切れないよう、学期の初めと終わりに搬出入する負担は、経済的にも労力も大変なもの。

「おかゆなどの主食や水くらい学校で用意してくれないのか」との声が上がっていると改善を求めたところ、教育長は、乾パン等の固形物の摂取が困難である児童生徒についても、障がいの程度に応じ、各学校において対応している、と答弁しました。

この質問の数日後に、当該校で学校から保護者に説明があり、**主食や水は学校で備蓄し、保護者は拠出する必要はないことが確認されました。**



大きなポリボックスいっぱいの3日分の飲食物。**費用は保護者負担。水まで?**  
学期末に保護者がいったん持ち帰り、賞味期限等を確認して、新学期に持ち込む。

### ★足りない教室、学校、スクールバス

質問では、重い障がいのある児童生徒が増えていて教室が不足しており、抜本的対策として、特別支援学校の増設も求めました。

教育長は「8月に設置した『神奈川県の特別支援教育のあり方に関する検討会』(『あり方検討会』)で検討していく」と答えました。

すると質問の数日後に横浜市在住の方から、「県議会でのやりとりを知って連絡した。来年子どもが小学校入学なので学区の特別支援学校を希望したら、**スクールバスは満員で乗れない、と言われ**

**て困っている。**学校増設だけでなく、スクールバスの充実も取り上げてほしい。『**あり方検討会**』では当事者が直面している切実な問題の解決をきちんと議論してほしい」との声が寄せられました。

さらにその後も県立相模原中央支援学校のスクールバスには**車椅子が乗車できるスペースが足りず、毎朝保護者が車いすからカーシートへ降ろしている、何とかしてほしい、**との声が別の方から寄せられました。引き続き問題解決、改善に取り組みます。

## ■ 自宅で亡くなった時に遺族が負担する「検案料」とは — 遺族負担は高額の場合も（神奈川県）。東京都では遺族負担ゼロ —

自宅など病院ではない場所で人が亡くなると、死亡診断書を書いてくれるかかりつけ医がいない場合は、死因を特定するために警察が監察医による「検案」をおこないます。法律上「死」は、この死因がわかる書類の発行をもって確定するため「死因の特定」と「書類の発行」が必要なのです。

この「検案」の時にかかる検査費用と書類発行費用をあわせた金額が「**検案料**」。

事件性がある場合は警察の責任で検案をおこないますが、**事件性が無い場合は神奈川県では、遺族が費用負担**を求められます。

かかりつけ医が現場で死亡診断書を書けば検案料は安くなりますが、そうでない場合は、**解剖や遺体搬送費用**も含めて**検案料が高くなる**ことがあります。

県内のある団地で、亡くなった状態で発見された事例が**2件**あり、検案料が1件は数万円、もう1件は30万円と、**金額が大きく異なりました**。

一方、**東京都は検案料を都が負担するので遺族が負担することはありません**。

また神戸市では、一部の区を除き検案料は一律2万円とされています。



日本共産党の加藤なを子県議（藤沢市選出）は、9月20日の一般質問で、今後高齢化が進み孤立死（孤独死）の増加も考えられるなかで、**検案料の遺族負担を県として軽減**するよう求めました。

## ■ 基地問題の解決に県政の力を

### 厚木基地爆音解消へ要請行動（10月25日）

10月25日（木）、県と厚木基地周辺9市で構成する厚木基地騒音対策協議会は、政府と駐日米国大使への要請行動をおこない、**藤井かつひこ**も参加しました。空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で決しておこなわないこと、空母艦載機移駐後の騒音状況について国の責任で検証すること、などを求めました。

日本共産党は、爆音被害の根源である米空母の横須賀母港化の返上を求めています。

### 相模総合補給廠への米陸軍ミサイル部隊司令部設置に抗議

相模総合補給廠に米陸軍ミサイル部隊司令部が設置されることが突然発表され、10月16日から駐留が始まりました。

**基地機能強化は許せない**と、市民団体と日本共産党は**抗議し、撤回を求めています**。右の写真は**藤井かつひこ**も参加した、外務省・防衛省との交渉（上：10月2日衆院議員会館）と新司令部編成式典へのスタンディング抗議行動（下：10月31日キャンプ座間正門前）。

